



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東
コード番号 7375 URL <https://www.r-inverse.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 蓮池 智嗣 TEL 03 (6281) 4879
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	949	△17.2	7	△64.5	0	△96.6	1	△82.3
2023年6月期第1四半期	1,146	38.8	20	△44.3	8	△38.3	9	△28.1

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 1百万円 (△82.3%) 2023年6月期第1四半期 9百万円 (△28.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	0.51	0.51
2023年6月期第1四半期	2.91	2.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第1四半期	3,580	107	1.6	17.17
2023年6月期	3,783	99	1.5	16.54

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 57百万円 2023年6月期 55百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	9.6	630	298.6	595	238.1	550	—	165.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	3,338,421株	2023年6月期	3,338,221株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	137株	2023年6月期	137株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	3,338,171株	2023年6月期1Q	3,312,767株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、前期に引き続き既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる新規事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。また、SDGsやサーキュラーエコノミーの文脈において事業機会が相当数増加しており、事業化の取組みを加速しております。

素材ビジネスにおいては、当社の主力製品である再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の引き合いが前期に引き続き好調なことに加え、2023年11月1日の日本リサイクルカーペット協会の設立に伴い、当社は同協会に参加しリサイクルカーペットの更なる普及に取り組んでまいります。また、再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）は、製品の高付加価値化を進めると同時に国内外を問わず外部企業等との連携や弊社技術のライセンス供与等の取組みも加速しており、今後は更なる収益・利益増加に貢献する見込みです。また、ソリューション事業においては、昨今の廃棄物処理費用の高騰により資源循環における当社グループのノウハウへの引き合いが増加しており、コンサルティング受託、再資源化技術開発、ライセンス提供先への技術指導、設備設計業務受託などで収益源が拡大しており、ライセンス供与と併せて収益増加を見込んでおります。

資源ビジネスにおいては、組織再編によりオペレーションの見直しやリソース配分の最適化を行いながらDX化等を進めたことで生産性が向上しており、安定的に利益を確保しております。また、新規事業領域となる廃プラ資源化への取組みを加速し、既存事業での安定的な成長とともに収益基盤の強化に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高949,197千円（前年同期比17.2%減）、営業利益7,339千円（前年同期比64.5%減）、経常利益287千円（前年同期比96.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,706千円（前年同期比82.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

また、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 素材ビジネス

素材ビジネスにつきましては、前期に引き続きセグメント損益は黒字で推移しております。原状回復工事増加に伴う廃カーペットタイル受入処理量は堅調に推移し、廃カーペットタイルを再資源化した再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の引き合いが増加しております。また、自動車エアバッグの基布や廃棄漁網等を再資源化したナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）の高付加価値化を進めており、特にアパレルや成型パーツ向け等の複数の業界との取引の増加を見込み、新たな事業領域へ拡大・成長に取り組んでおります。さらに、当社自動車エアバッグ基布リサイクル技術や廃漁網リサイクル技術の海外企業へのライセンス供与やライセンス先への技術指導等、収益・利益への貢献を予定しております。このように、当社のビジネスノウハウに対する引き合いは増加しており、収益機会が拡大しております。しかしながら、当四半期連結累計期間においては、REAMIDE®の高付加価値化へシフトする中で受注構成が変化しており、前年同期比で減収となっております。

この結果、売上高は323,724千円（前年同期比18.9%減）となり、セグメント利益は30,815千円（前年同期比16.5%減）となりました。

② 資源ビジネス

資源ビジネスにつきましては、組織再編によりオペレーションの見直しやリソースの最適化を進め、産業廃棄物処理事業で過去最高水準の利益水準を維持しております。収集運搬・中間処理を一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスを強みに営業活動を強化したことに加え、DX化・廃材処理バリューチェーン改革など顧客の収益性を高める取組みが功を奏し、原状回復工事の受注獲得を継続しております。また、ケミカルリサイクル用廃プラ供給の事業化や廃プラ資源化新商流の創出、新規事業領域となる廃プラ資源化への取組みを加速しております。しかしながら、当四半期連結累計期間においては、都内大型ビル竣工を控えて受注が低調となったため、前年同期比で減収となっております。

この結果、売上高は641,716千円（前年同期比16.1%減）、セグメント利益は128,868千円（前年同期比8.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,513,640千円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）と比べ163,354千円減少しております。これは主として現金及び預金が97,438千円、受取手形及び売掛金が62,906千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は2,066,497千円となり、前年度末と比べ39,570千円減少しております。これは、主として有形固定資産が44,699千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,076,239千円となり、前年度末と比べ92,811千円減少しております。これは主として1年内返済予定の長期借入金が23,829千円、未払法人税等が59,953千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は2,396,692千円となり、前年度末と比べ117,616千円減少しております。これは、主として長期借入金が103,470千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は107,205千円となり、前年度末と比べ7,503千円増加しております。これは、主として新株予約権が5,418千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年8月29日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	872,955	775,517
受取手形及び売掛金	529,947	467,040
商品及び製品	163,359	158,173
仕掛品	30,905	31,114
原材料及び貯蔵品	44,466	44,708
前払費用	27,641	25,769
未収還付法人税等	7,217	7,217
その他	3,785	6,650
貸倒引当金	△3,282	△2,551
流動資産合計	1,676,994	1,513,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,267,349	1,267,349
機械装置及び運搬具	1,238,489	1,236,981
工具、器具及び備品	111,159	113,505
土地	520,100	520,100
リース資産	459,829	387,708
建設仮勘定	4,584	3,709
減価償却累計額	△1,697,065	△1,669,607
有形固定資産合計	1,904,447	1,859,747
無形固定資産		
	15,092	21,872
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	51,413	50,550
敷金及び保証金	123,002	121,849
その他	20,001	20,367
貸倒引当金	△27,888	△27,888
投資その他の資産合計	186,529	184,877
固定資産合計	2,106,068	2,066,497
資産合計	3,783,063	3,580,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	189,384	177,217
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	481,980	458,151
リース債務	71,316	68,347
未払金	95,358	100,249
未払費用	93,388	79,424
未払法人税等	62,898	2,945
未払消費税等	48,521	39,918
賞与引当金	3,868	21,601
受注損失引当金	13,224	13,224
その他	9,110	15,159
流動負債合計	1,169,051	1,076,239
固定負債		
長期借入金	2,204,074	2,100,604
リース債務	134,431	124,485
繰延税金負債	8,599	7,915
資産除去債務	156,653	156,883
その他	10,551	6,804
固定負債合計	2,514,309	2,396,692
負債合計	3,683,360	3,472,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	160,196	160,385
資本剰余金	201,080	201,268
利益剰余金	△305,804	△304,097
自己株式	△251	△251
株主資本合計	55,220	57,304
新株予約権	44,481	49,900
純資産合計	99,702	107,205
負債純資産合計	3,783,063	3,580,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,146,508	949,197
売上原価	818,842	657,041
売上総利益	327,666	292,156
販売費及び一般管理費	307,006	284,817
営業利益	20,659	7,339
営業外収益		
受取利息	26	2
助成金収入	1,213	969
受取賃貸料	778	—
その他	1,814	406
営業外収益合計	3,833	1,378
営業外費用		
支払利息	8,478	8,159
減価償却費	2,807	—
開業費償却	3,936	—
雑損失	64	89
その他	660	182
営業外費用合計	15,948	8,430
経常利益	8,544	287
特別利益		
固定資産売却益	—	6,960
新株予約権戻入益	352	—
特別利益合計	352	6,960
特別損失		
固定資産除却損	—	2,824
特別損失合計	—	2,824
税金等調整前四半期純利益	8,896	4,423
法人税、住民税及び事業税	17,801	2,537
法人税等調整額	△18,553	179
法人税等合計	△752	2,717
四半期純利益	9,648	1,706
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,648	1,706

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	9,648	1,706
四半期包括利益	9,648	1,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,648	1,706
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	381,558	764,950	1,146,508	1,146,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,403	214	17,617	17,617
計	398,961	765,164	1,164,126	1,164,126
セグメント利益	36,918	119,236	156,155	156,155

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社コネクションの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「資源ビジネス」のセグメント資産が1,744,602千円増加しております。

3. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	156,155
セグメント間取引消去	793
未実現利益の調整額	1,063
全社費用（注）	△137,352
四半期連結損益計算書の営業利益	20,659

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

資源ビジネスにおいて、当第1四半期連結会計期間において、株式会社コネクションの株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。当事象によるのれんの発生額は488,554千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	308,005	641,192	949,197	949,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,719	523	16,242	16,242
計	323,724	641,716	965,440	965,440
セグメント利益	30,815	128,868	159,684	159,684

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	159,684
セグメント間取引消去	192
未実現利益の調整額	△1,170
全社費用（注）	△151,366
四半期連結損益計算書の営業利益	7,339

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。